

JARL

倉敷クラブ報

第322号

2016年 2月13日 (土)



JARL 倉敷クラブ (登録番号31-1-1)

クラブ局 JA4YAB

<http://www.jarl.com/ja4yab/>

クラブ代表者 土井 淳 (JE4NHC)

〒710-0005 倉敷市西岡1073

目 次

はじめに	JA4KI	1
内規変更について	JH4GNE	2
お知らせ	出稿JA4KI	3
NEWS	出稿JA4KI	5

次回定例ミーティングのお知らせ

日 時：2016年4月9日（土）13時30分～

場 所：倉敷市西岡荘（駐車場あり）

次回以降の定例ミーティング 6月11日・8月13日・10月8日

倉敷クラブの管理するレピータ

JR4WH 439.76MHz （運用責任者：JH4E00）

倉敷クラブ役員

会 長（代表者）	JE4NHC	副 会 長	J14GAU
会 計 担 当	JA4AJB	ミーティング 担当	JA4TI
監 査 担 当	JH4E00	ミーティング 担当	JR4BXK
庶 務（アワード）担当	JL4TTY	ミーティング 担当	JN4DLY
庶 務 担 当	JE40XP	ク ラ ブ 報 担当	JH4GNE

クラブ報の原稿はミーティングの3週間程度前迄に、クラブ報担当までEメールでもし出来ない時は持参でお願いいたします 原稿の寸法は表紙の外枠（13.5×21.5cm）です クラブ報担当 JH4GNE

クラブ報はミーティングの会場にはございませんので定例ミーティングまでに然るべき方法にて受領され定例ミーティングにご持参下さい

今年の倉敷クラブ新年会の写真等が、クラブのホームページのアルバムコーナーに載っています。時間がある方は、見て下さい。（JH4GNE）

はじめに

J A 4 K I 吉岡 謙

私の現職時代のことである。

高校の専門教科の中で、特に「工業に関する教科」を教えることができる「工業」の免許状を持っている者は少なく、工業系の学校は、その教員確保に苦勞した時代がかなり長い間続いた。その時に学校がよく取った手段は、どこかの学校で定年になった、工業教員として経験豊富な優秀な教員を、非常勤教員として招聘するというものであった。

私の勤務校でも、ある年にその手法を使って、某工業高校の教頭で定年退職されたA先生を招聘した。A先生は、第一種電気主任技術者免状を持っている強電屋さんで、学生時代は、世界的な企業であるSONYの前身の東京通信工業の創始者であって、我々ハムの大先輩である井深 大さんとは同級生であった。A先生は、大学卒業後、当時日本だった朝鮮の電力会社に勤務していて、戦後引き揚げてきた人だった。当時私に適用されていた給与等級が、A先生の前任校での等級と同じだったこともあって、親近感を持たれたらしく、井深さんが下宿（寮）の電気の電力量計（普通メートル器と言われている）を逆回転させて電気代をごまかそうとしたら、指示が戻り過ぎて不正がばれた話など色々な話をよくしてくれた。

電界の持っているエネルギーを、生徒が目に見える形で実験で証明できる方法はないかと模索していたときに、NHK教育テレビ（現在のEテレ）で、大容量のコンデンサーに充電しておいた電気です小型のモーターを回し、モーターの軸に巻き付けた糸の先の錘を持ち上げることで、エネルギーを求めるという実験を見た。

他の教員とも相談して、早速それを作ろうという事になり、当時マイコンなどの電源に使われ始めた1Fのスーパーコンデンサーは、私が上京したときに秋葉原で買って来ることになった。

この話を聞いていたA先生は、ものすごい剣幕で私を呼んで、怒鳴りつけた。A先生の言ったことは、「我々の住んでいるこの大きな地球の持っている静電容量でさえ706 μ Fなのに、その1400倍以上もあるような容量の1Fのコンデンサーなど、この世の中にあるはずが無い。」というもので、「あなたは、電気についての常識があまりにも無い。」とまで言われたのである。

当時半導体を用いた大出力のオーディオ機器の電源の平滑コンデンサーには、インピーダンスの低い大電流でも平滑効果をよくするために、地球の持つ静電容量をはるかに超える1000や2000 μ Fのコンデンサーはよく使われていたが、強電屋さんはご存知なかったようであった。

その後上京した時にそのコンデンサーを購入してきて、実験装置を作り上げて、生徒に使わせたが、私が出した1Fのコンデンサーは、直径が約4 cm位で厚みが約1 cm位の円盤状のものであった。

そのコンデンサーを見たA先生は、私のところへ寄ってきて、頭を地面にこすりつけんばかりに深々と下げて、「失礼なことを申し上げて誠に済みませんでした。私は、ものすごく時代遅れの電気屋だという事がよく分かりました、お許してください。」と謝ってくれた。

科学技術の進歩はものすごい早さで進んでいる。過去に学んだことが、今ではどうなっているかを、色々な機会を捉えて調べてみてはいかがだろうか。

内規変更について

d e J H 4 G N E

12月の定例ミーティングで、あるクラブ員より最近「ON THE AIR MEETING で会員の皆さんのお声が聞かれないような気がするのですが。」という声があるとの話題があり、その件で如何したら良いかを話し合いました。

最近までの数年での現状では、出てくるとしても局数も数人ですし、クラブからクラブ員全員に情報を伝達する方法としても、また近況を知る方法としても役割を果たしているとは言えないものを感じられるというものでした。

まして、最近はクラブのホームページには、「情報交換室」「近況」などのコーナーがあり、利用してくだされば有用な手段にもなります。また、昨年より「メーリングリスト」もスタートして、クラブ員全員に情報を伝達する手段としてはより確かなものができました。そこで、内規15.の変更をしてはどうかと言うことになりました。

現状

15. ミーティング

原則として、偶数月の第2土曜日の18時30分より前号のクラブ報で発表した会場にて定例ミーティングを行なう

又、毎週金曜日の21時よりオン・ジ・エアー・ミーティングを430MHz帯又は、145MHz帯のFMにて行なう

改正案

15. ミーティング

原則として、偶数月の第2土曜日に前号のクラブ報で発表した時間・会場にて定例ミーティングを行なう

又、毎週金曜日の21時よりオン・ジ・エアー・ミーティングを430MHz帯又は、145MHz帯のFMにて行なう事がある

と、下線を引いているように「事がある」を追加する案です。

また、併せてクラブ報では報告していますが、定例ミーティングの開始時間を修正し現状に合わせる案です。

ご意見をお知らせ下さい。

4月の定例総会で決定したいと思います。

お知らせ

◎JARL創立90周年記念キャンペーン

JARL創立90周年記念として、次の三つのキャンペーンが行われていますので、ご紹介します。

1. 会員増強キャンペーン

第一弾は、昨年4月1日から9月30日まで開催されて、既に結果が発表されています。

第二弾は、次のとおり行われています。

期間 今年3月31日迄

対象者 上記の期間中に入会された正員・社団会員・准員の方、及びその紹介者(JARL会員)

内容 A賞 [全員] 4GB 90周年ロゴ入り USBメモリー

B賞 [抽選] D-STAR ハンディー機が当たる！(約150名ごとに1台当選)

C賞 [抽選] CQ ham radio 誌1年分が当たる！(合計10名)

詳しいことは、JARL Webをご覧ください。

2. JARL会費「口座自動振替」申込による会員期間優遇キャンペーン

期間 今年3月31日迄

対象者 次の(1)～(3)をすべて満たす方

(1) 正員・社団会員・准員の方(「ライフメンバー会費」をお支払いの方を含む)

(2) 現在、会費を「口座自動振替」以外の方法で支払っている方

(3) 期間中に、会費の「口座自動振替」を申し込みした方

内容 会員期間が「1ヵ月」延長されます。(一回限り)

注意 (1) 家族会員・転送手数料・ライフメンバー転送手数料の方は対象となりません

(2) 口座自動振替の申込書が用意されていますので、e-mailでJARL会員課 kaiin@jarl.org まで申し込んでください。

このキャンペーンは、他の90周年記念キャンペーンと併用できます。

3. 会員期間「3年以上継続」による会員期間優遇キャンペーン

期間 今年3月31日迄

対象者 次の(1)～(3)をすべて満たす方

(1) 正員・社団会員・准員の方(ライフメンバーの方を除く)で、会員期間をすでに3年以上継続されている方

(2) 会員期間満了日が平成27年4月1日以降の方

(3) 期間中、会費期間満了日までに、1年または3年の会費を支払う方

内容 (1) 「1年会費」で継続された方 → 会員期間を「1ヵ月」延長

(2) 「3年会費」 " " → " 「2ヵ月」 "

注意 (1) 会員期間を3年以上「継続」された方が対象となりますので、一度退会した方が再度入会した場合、再入会された時点からの継続年数がキャンペーン対象となる。

(2) このキャンペーンは、「半年分」の継続会費は対象にはなりません。

このキャンペーンは、他の90周年記念キャンペーンと併用できます。

(出典 JARL Web 出稿 JA4KI)

◎アマチュア無線技士国家試験

・第一級・第二級アマチュア無線技士

次の試験期は、今までとおりの予定ですと、2月の申請受付で、試験は4月ですが、この原稿出稿までには、まだ協会からの正式発表はありませんので、JARLメルマガに出ているものをお知らせします。

試験日 第一級アマ技士 4月2日(土)、第二級アマ技士 4月3日(日)

受験申請書の受付期間 2月1日(月)～22日(月)

・第三級・第四級アマチュア無線技士

近隣の試験地・試験月日	大阪	2016年 3月 5日(土)
	岡山	2016年 3月 6日(日)
	松山	2016年 3月 13日(日)

受付期間 いずれもすでに先月で終わっています。

試験科目および試験開始時刻 法規と無線工学で、開始時刻は受験票で通知されます。

試験地 受験申請書を提出した協会所在地の総合通信局所在地で、詳しい場所は、受験票で指定されます。

来年度の各級アマ技士の国試の予定については、例年のごとく、本誌来号の4月号でお知らせしますが、早く予定を知りたい場合は、日本無線協会の事務所へ電話でお尋ねになるとよいでしょう。

電話番号は、受験希望地が広島・岡山・松江の場合は(082)227-5253、大阪の場合は(06)6942-0420、松山の場合は(089)946-4431です。

(出典 JARLメルマガ/日本無線協会国試案内 出稿 JA4KI)

◎「モールス符号を UNESCO の無形文化遺産へ」

PRグッズを希望者に無料配布

JARLでは創立90周年への提言として、モールス符号のUNESCOの無形文化遺産登録を大きな目標に掲げ、IARU加盟の世界の連盟と歩調を合わせてPR活動を実施しています。

このPR活動をより一層推進するため、PR用オリジナル下敷き(A5版・両面刷り・薄手のプラスチックシート製)を制作して無料で配布しています。表面は、提言のロゴなどが、裏面はモールス符号の一覧表になっています。

希望者は、自分の郵便番号・住所・氏名を書いて120円切手を貼ったJIS角形6号の封筒(JIS A5版の紙が入る大きさ)を同封して、

〒170-8073 (住所不要)

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

モールス符号を無形文化遺産へPR係」宛てに申し込んでください。

JARLからは、下敷きが2枚封入されて送付されます。

下敷きの配布は、在庫が無くなり次第終了しますので、予めご了承ください。

(出典 JARLメルマガ他 出稿 JA4KI)